

年金者部会ニュース

滋賀銀行
従業員組合
年金者部会
TEL077-521-2775
FAX077-525-5232

議論を深めよう

「部会と従組の運動の方向」

第17回

滋賀銀行従業員組合・年金者部会総会

10月23日、午後3時より守山市において第17回滋賀銀行従業員組合・年金者部会総会が開催されました。

総会には部会員19人、従組組合員3人と池田泉州従組の岡野近畿地協議長が参加され、会議は、谷事務局長の司会で進められました。

はじめに和田一郎部会長が挨拶（下記の囲み）をされ、続いて滋賀銀行従業員組合の中島康隆委員長から挨拶を受けました。

中島委員長は、従業員組合の活動や財政支援に対する謝意を表明し、「現役メンバーは少数であるが、頑張って経営と対峙したい」と述べられました。

つづいて事務局より「2017年度の経過報告と同年度の決算報告が行われ、関連事項として、輪転機募金の収支報告、

「新年度のとりくみについて」ならびに「2018年度予算」「役員改選について」の3つの議案が一括して提案されました。討論を経た結果、全会一致で全議案を決定しました。

和田部会長の挨拶

つい先日と思っていたが早17回の総会となりました。まず、皆さんも注目しておられたと思う沖縄県知事選挙に始まって、



新年度の取組について

日 程	行 事 予 定
2018年10月23日	第17回総会
11月	世話人会
11月	部会ニュース発行
12月	書記局納め
2019年 1月	旗びらき・世話人会
2月	部会ニュース発行・従組大会
3月	世話人会
5月	部会ニュース発行・メーデー
6月	ちぎんしがの会「総会・行事」・平和行進
8月	部会ニュース発行
9月	世話人会
10月	第18回総会

2018年度の予算

入		出	
科 目	予 算	科 目	予 算
前期繰越金	846,679	会議費	50,000
会費	108,000	渉外費	150,000
雑収入	0	行事費	150,000
		事務費	20,000
		雑費	10,000
		予備費	20,000
		次期繰越金	554,679
合計	954,679	合計	954,679

新年度の役員

2018年度の役員については、前年度の全役員が同役職に再任されました。

部会長	和田 一郎
事務局長	谷 一 明
世話人	植木 和美
〃	倉見 栄一
〃	澤 井 正
〃	田中紀美子
〃	古田 雅二
〃	三橋 俊夫
〃	山崎 幸雄

討論の最初に古田さんから西部地域・ちぎんの世話人会議の報告がされました。

10月12日の朝、淡路島で今後のことについて相談した。西部地域は東京から大分と範囲も広いが「ちぎんの会」は続けよう」ということになった。準備のこともあり「あちこち団体で動くのではなく、集まって夕食を共にする程度が好ましい」ということになりました。また、

古田氏から、倉見栄一さんがびわこ放送の第33回ほの「ぼの大賞」の地域安心安全部門の大賞を受賞され、文化の日に放映されると朗報が話されました。

なお、会議では紙面の関係で掲載できませんが、倉田さん、西村さんをはじめ、多くの方から貴重な意見が出されました。

世の中の流れは、 確実に革新の方向に

確実に革新の方向に動いていると言えるのではないかと思う。

そのような中で、我々年金者部会がどこまで役割を果たせるか、

首長選挙3連勝 京都は大山崎町で共産党が推薦している候補が当選された。世の中の流れは、

また力を出せるのかは疑問だが、持てる力を出し切って世直し運動の、どこかの端に居られたらと思っ。

先般開催の「ちぎんの会」の総会に参加の方々ご苦労様でした。引き続きの本日もまた、年金者部会の総会となるが、我々の運動をどのように進めるのか、また、従業員組合の運動をどのように支援していけるのか、忌憚のない意見を出し合いながら、議論を深めていただければ幸いです。



ちぎんの会「寿長生」総会 2018年10月11日・12日 於：淡路島

ちぎんの会 「寿長生」

10月11日・12日淡路島海上ホテル

10月11日、兵庫県南あわじ市の淡路島海上ホテルにおいて「ちぎんの会」総会が開催されました。

前回までの総会は旧地銀連の東北地協と西部地協が一カ所に集まって開催されていましたが、前回の総会で、参加しやすいように東西に分かれて開催することになりました。

西部地域のちぎんの会総会は泉州、大分、書記局、滋賀の代表が3月に準備会を開催し、事務局を滋賀が担当することで準備を進めてきました。

台風や体調不良などで参加は減りましたが24人が参加して盛り上がった総会となりました。

総会は、谷事務局長の司会で進められ、はじめに古田「ちぎんの会」副会長が挨拶を兼ねて



前回総会から今日までの経過報告を行いました。次に中島金融労連中央執行委員長から金融労連の活動状況の報告や「ちぎんの会」との連携の訴えがありました。

鈴木和夫氏（泉州）の乾杯の音頭で懇親会を開始し、各団体から報告が始まりました。各団体とも久々の出会で「日頃の活動状況や会員の近況など」が報告されました。

御嶽友一氏（書記局）からは「89歳になったが、元気に皆さんと出会えて何よりも喜びだ」と前置きし、当時のメンバーの諸星さんや菊地さんが他界されたこと、イタリア好きの奥様が2年前に亡くなり、2人で40日のイタリアの旅をされた旅行日記をもとに「なぜイタリアなの



かイタリア縦断40日の旅」を2017年に自主出版された話など、心を打ちました。

総会の最後に「地銀連の歌」を大合唱して第1目を終わりました。

12日は、朝8時30分から、各団体の世話人会議が開催され、今後の運営について西部地域の意向を確認しました。

9時30分の出発前に全員が御記念写真を撮り、ホテル近くの「淡路人形座」で人形浄瑠璃を鑑賞するなど淡路島を楽しみました。明石海峡から福良まで、道の駅や神社、鳴門海峡に立ち寄り淡路島を縦走し、思い出に残2日間を過ごしました。

参加者全員が「次回も元気に再開しよう」と握手を交わし、新神戸と三ノ宮で解散しました。